SAKAImed

取扱説明書

Pack Warmer

パックウォーマー

CL－35

（医療機器届出番号 27B2X00053000003）

✱このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただくとともに本製品を使用する方には必要により安全教育を実施してください。

✱「取扱説明書」は
・1部を現場用として、常に参照できる状態を保ってください。
・1部を保存用として、大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意 …… 3
梱包商品の構成 …… 5
設置をする前に …… 6
　握り手の取付け …… 6
　ホース引掛金具の取付け …… 6
　ホースの取出し …… 6
　パック立ての設置 …… 7
ご使用になる前に …… 8
　環境及び設置 …… 8
　電源 …… 8
　禁忌・禁止 …… 8
各種性能 …… 9
　温度制御機能 …… 9
　週間タイマーの機能 …… 9
各部の名称と役割 …… 10
　操作パネル …… 10
　操作パネルの説明 …… 10
　設定ロックの説明 …… 11
　電源ボックス …… 12
週間タイマーの操作 …… 13
　初めての操作 …… 13
　週間タイマーの標準プログラム …… 13
　現在時刻の設定 …… 13
週間タイマーの設定 …… 14
　タイマーの設定 …… 14
操作方法について …… 16
　準備 …… 16
　温度設定 …… 16
　強制停止 …… 16
　手動運転 …… 16
　長期間の運転休止 …… 17
　ご使用後 …… 19
エスパックのご使用法 …… 20
　エスパックの入れ方 …… 21
お手入れの仕方 …… 22
　槽内の水の取替え …… 22
　清掃 …… 22
故障と思われる前に …… 23
機器の保守・点検について …… 24
保証とアフターサービス …… 25
仕様 …… 26
医用電気機器の使用上(安全及び危険防止)
　の注意事項 …… 27

用途

本製品は、エスパック（ホットパック）を温めるための加温装置です。

特長

- 設定時刻に加温完了の簡単操作。
  使用開始設定時刻には加温完了。
  使用したい時にいつも適温を保ち、
  使いやすさを向上しました。
- デジタル式週間タイマーを標準装備。
  曜日毎の使用時間に合わせた加温
  設定が可能です。
- 安全面に配慮。
  空焚防止装置，漏電ブレーカ，
  ヒーターランプ、水不足ランプ、
  高温ランプを標準装備してあります。

安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、
各注意事項をよくお読みのうえ、
必ずお守りください。

注意事項を次のように区分しています。

⚠危険 ･･･ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負うことに至るもの

⚠警告 ･･･ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの

⚠注意 ･･･ 取り扱いを誤ると、
傷害または物的損害の発生が想定されるもの

絵表示の意味

⃠ 禁　止：してはいけない「禁止」内容のものです。

❗ 強　制：必ず実行していただく「指示」内容のものです。

設置・電源

⚠警告

❗ **移動後は、必ずキャスターをロックする**
ロックしていないと突然装置が動き、思わぬけがややけどの恐れがあります。

❗ **パック立ての方向を正しく槽に入れること**
間違った方向に入れると、パックが水位センサーに触れ、空焚きする恐れがあります。

⃠ **電源コード及び、プラグの改造等は、絶対に行わない**
感電の恐れがあります。

⃠ **ぬれた手でプラグの抜き差しはしない**
感電の恐れがあります。

⚠注意

⃠ **湯をためたまま移動しない**
キャスターが破損したり、移動操作が困難になり、思わぬ事故につながる恐れがあります。

⃠ **移動時に浴槽をぶつけない**
破損する恐れがあります。

❗ **電源電圧は AC100V±5%の範囲内で使用する**
範囲外の場合には機器の故障及び誤作動の原因となります。

❗ **電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く**
コードを引っ張るとコードが傷み、感電や火災の原因になります。

❗ **点検時は電源を切る**
電源設備の点検や工事を行っているときには、本機の使用は避けて電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。本機を破損する恐れがあります。

使用中

⚠警告

エスパックのご使用前に必ず手で温度を確認
熱いとやけどをする恐れがあります。

⚠注意

エスパックを知覚異常のある患者に使用する場合は注意する
やけどをする恐れがあります。

使用中は水位を確認する
パックを使用するにつれて槽内の水量が徐々に減ってきますので、途中で水(湯)を適量補給してください。

槽内に包帯やばん創こう等を落としたときは、すぐに拾い上げる
排水部の目詰まりの原因となります。

エスパックの帆布が破損し、中のベントナイトがはみ出したら破棄
槽内の錆びの発生や、排水部の目詰まりの原因となります。

パックは直接槽の中に入れない
パック立てを使用して加温してください。直接では破損する恐れがあります。

槽のふたの取り扱いには注意する
ふたを閉めるときに指を挟んでけがをする恐れがあります。

ご使用後

⚠注意

タイマーを使用中は槽内の水(湯)は十分に補給してふたをしておく
本製品には空焚き防止機能がついていますが、設定を誤って万一休日等に作動してしまうと水（湯）が減りますのでご注意ください。

エスパックを塩素系消毒剤で除菌するときは、濃度及び浸けおき時間に注意
濃度が濃いと布地を傷めます。浸けおき後は水でよく洗ってください。(5%漂白剤を用いた場合、使用量の目安として、1ℓ の水に対し 5～10 ccの割合で加えた濃さの液で 30 分程度)

清掃の際、操作スイッチにホース等で水をかけない
水がかかると電気系統の故障の原因になります。

清掃時には電源プラグを抜く
故障や感電の恐れがあります。

槽内の水は必ず一週間に一度は交換する
水が汚染して雑菌等が繁殖する恐れがあります。

排水は槽内のお湯が十分冷めてから行う
熱いまま排水すると、配管が破損する恐れがあります。

使用後は、必ず換気を行い室内の湿度を下げる
湿気による錆やかびなどの発生を抑えます。

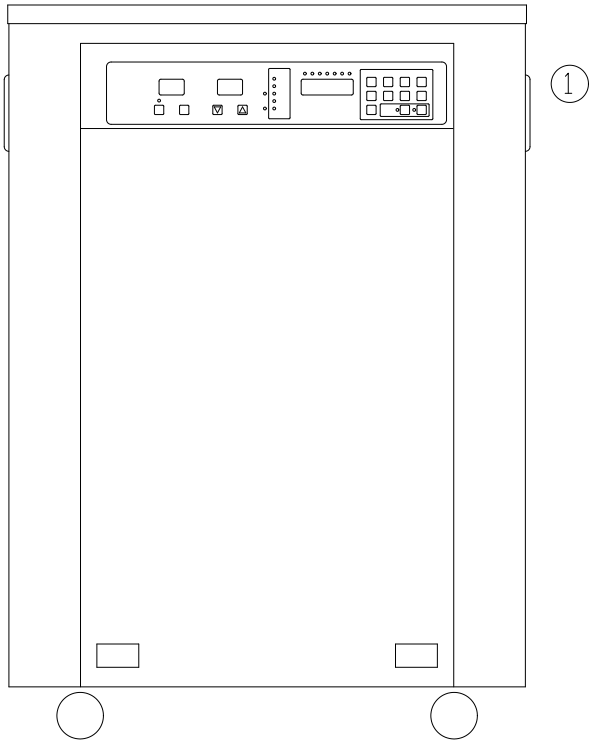
タイマー運転をしないときは使用後に、必ず製品の電源を切る
電源プラグを抜いてください。事故を防止します。

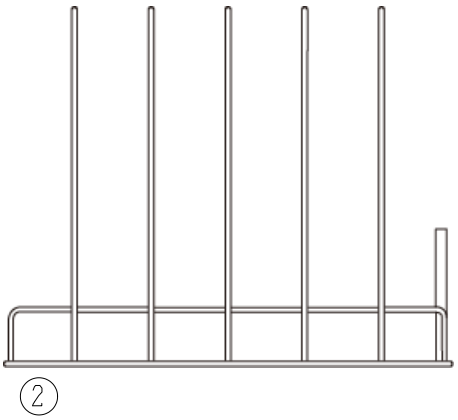
機器の改造はしない
故障の原因や事故につながる恐れがあります。

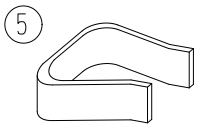
納入時の梱包材は、破棄する
製品にかけて使用すると、錆などが発生しやすくなるので、絶対に使用しないでください。

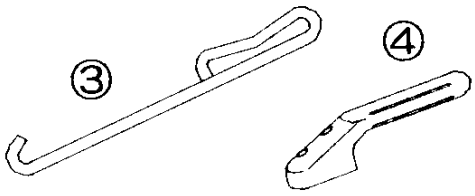
梱包商品の構成

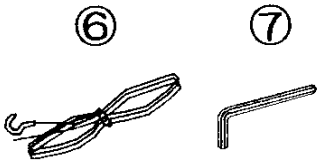
お買い上げいただいたパックウォーマーは、以下の部品で構成されています。











① 本体……1台
② パック立て……1具
③ パック取り出し金具……1本
④ 握り手……1個
⑤ 排水ホース金具……1個
⑥ アースコード……1個
⑦ 六角レンチ……1個

その他

取扱説明書……2部
保証書……1部
「医用電気機器の使用上の注意事項」の札……1枚

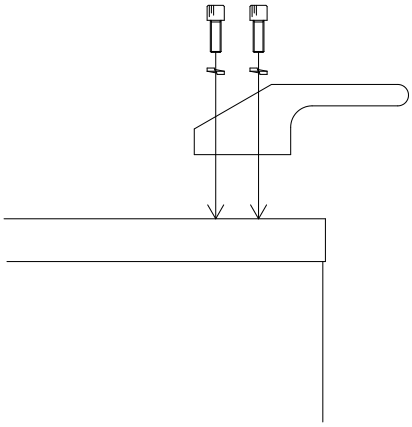
設置をする前に

商品の開梱ができましたら、各パーツの取付けをおこなってください。

握り手の取付け

取付けビス Ｍ５・・・２本　　Ｓワッシャ・・・２枚

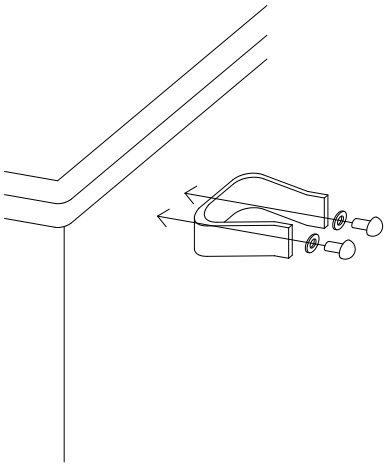
本体上蓋に付属の六角レンチで取付けてください。



ホース引掛金具の取付け

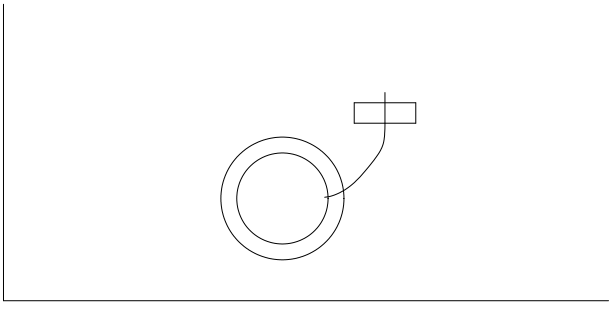
取付けビス Ｍ４・・・２本　　Ｓワッシャ・・・２枚

本体背面に取付けてください。



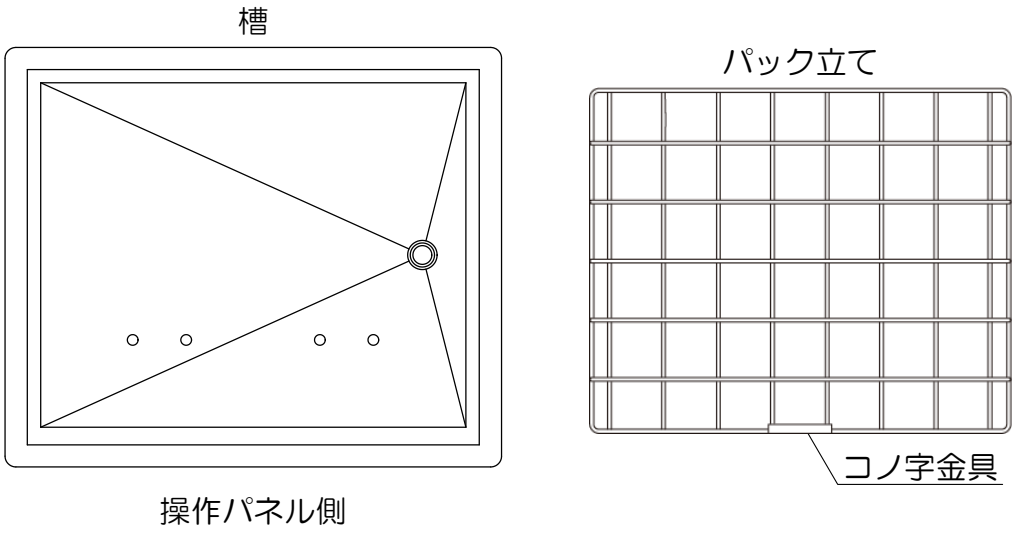
ホースの取出し

本体背面の下の穴からテープ止めの「ひも」を引きホースを取り出してください。



パック立ての設置

パック立ては下図（上方より見たところ）のように、パック立てのコノ字金具を槽の手前側（操作パネルの側）に向けて入れてください。



> ⚠警告　間違った方向にパック立てを入れると、パックが水位センサーに触れ、空焚きする場合がありますので、必ずパック立ては指定の方向で槽にいれてください。

ご使用になる前に

ご使用前に本製品について P.24 の始業点検項目にもとづき、始業点検を実施してください。またこれ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、電源を切って最寄りの営業所にご連絡ください。

破損、異常を感じたままのご使用は、危険ですから絶対におやめください。

環境及び設置

本製品には 4 個のキャスターが付いています。所定の位置に据え付ける場合は、キャスターのロックをかけてください。また、下記のような場所でのご使用はさけてください。

- 周囲温度が－10℃～＋50℃の範囲をこえるところ。
- 湿気，ほこり，ガスの多いところ。
- 振動，衝撃の多いところ。
- 雨，日光の直接あたるところ。

⚠警告 ・移動後は、必ずキャスターをロックする

電源

必ず専用の AC100Ⅴ15Ａアース付コンセントを使用し、完全にアースしてください。その際、アースが正常かどうか確認してください。

⚠警告 ・電源コード及び、プラグの改造等は、絶対に行わない
・ぬれた手でプラグの抜き差しはしない

⚠注意 電源設備の点検や工事を行なうときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

禁忌・禁止

適用対象

以下の症状を示す人、又は診断を受けた人への使用はやめてください。

- 重篤な抹消神経障害、急性の炎症及び外傷、悪性腫瘍及び肉種、潰瘍がある場合、高血圧症で重症の場合、高熱時及び衰弱時
- その他医師が不適当と判断した人

各種性能

温度制御機能

- 設定範囲　最高設定温度（設定単位：1℃）‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥95℃
  最低設定温度‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥60℃
  出荷時設定温度‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥80℃
- 表示範囲　最高表示温度‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥99℃
  最低表示温度‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥　1℃
  表示範囲温度下限を超えた場合
  又は、断線時‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ＬＬ
  （操作パネルの槽内温度表示部に表示）
  表示範囲温度上限を超えた場合
  又は、短絡時‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ ＨＨ
  （操作パネルの槽内温度表示部に表示）
- 電子式水位検知装置内蔵 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥水不足を検知すると、ヒーターを OFF にして表示ランプで水不足を表示します。

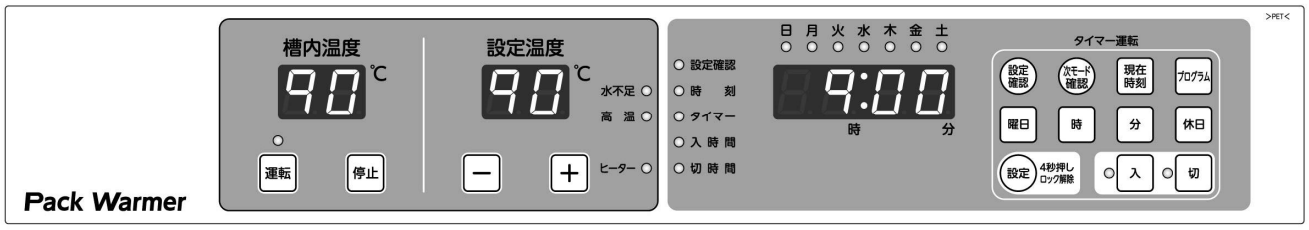
> ⚠注意　エスパックは、最高温度 80℃設定で使用してください。

週間タイマーの機能

- 各曜日ごとの時刻制御が可能です。
- 1日1回のＯＮ／ＯＦＦ制御をおこないます。
  最小設定単位時間‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥

各部の名称と役割

操作パネル



操作パネルの説明

- 温度制御に使用するキー

  運　転　キー‥‥‥温度制御を開始するキーです。

  停　止　キー‥‥‥温度制御を停止するキーです。

  ＋　キー‥‥‥ 設定温度を上げるキーです。範囲は 60℃～95℃

  －　キー‥‥‥ 設定温度を下げるキーです。範囲は 60℃～95℃

- 設定温度 ‥‥‥‥‥‥ 槽内の湯の設定温度を表示します。
- 槽内温度 ‥‥‥‥‥‥ 槽内の湯の温度を表示します。
  （タイマー運転が選択されている場合、使用時間以外は、槽内温度表示は消灯します。）
- 時刻表示 ‥‥‥‥‥‥ 現在時刻（24h 表示）の表示、プログラム設定時は入時間と切時間を表示します。

- 週間タイマーに使用するキー

  プログラム　キー‥週間タイマーの設定をおこなうときに使用します。

  設　定　キー‥‥‥設定ロックの解除、プログラムの設定をおこなうときに使用します。

  入　キー‥‥‥週間タイマーによる自動運転をする時に使用します。
  初期設定は「入」になっています。

  切　キー‥‥‥週間タイマーの制御が解除され、手動操作に変わります。

  注意：ヒーター通電時は、停止キーを押すか、設定温度になるまで通電します。
  ヒーター非通電時は、運転キーを押すか、設定温度より 1 度以上下がるまで通電しません。

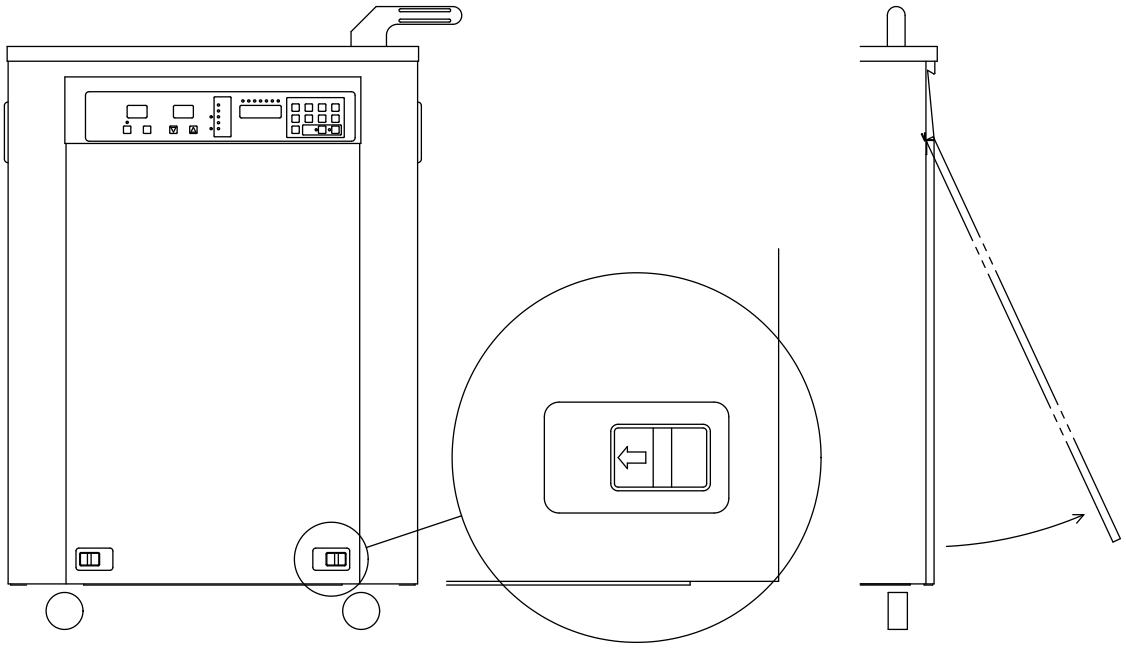
現在時刻　キー·····時刻の設定を行う時に使用します。
曜　日　キー·····曜日選択の時に使用します。
時　キー·····時刻の入力時に使用します。
分　キー·····分の入力時に使用します
休　日　キー·····休日の設定時に使用します。
設定確認　キー·····週間タイマーの設定内容を確認するときに使用します。
次モード確認　キー··次の動作内容(入切時間)を知りたいときに使用します。

- 水不足ランプ ····· 水槽内に水が入っていない場合、水が不足している場合に点灯します。（ランプ点灯時はヒーターに通電されません。）
- ヒーターランプ ···· 各々のヒーターに通電中に点灯します。
- 高温ランプ ····· 槽内温度が設定温度より 5℃以上上昇すると点灯します。
- 設定確認ランプ····· 設定確認 キーを押したときに点灯します。
- 時刻ランプ····· 現在時刻 キーを押したときに点滅になり、時刻設定モードになったことを示します。（時刻設定が完了するとランプは点灯になります。）
- タイマーランプ····· プログラム キーを押したときに点滅になり、週間タイマー設定モードになったことを示します。（時刻設定が完了するとランプは点灯になります。）
- 曜日ランプ····· 日～土までの曜日を表示します。
- 入時間ランプ····· 週間タイマーのプログラム設定時に、入時間の入力状態であることをランプの点滅で示します。
- 切時間ランプ····· 週間タイマーのプログラム設定時に、切時間の入力状態であることをランプの点滅で示します。

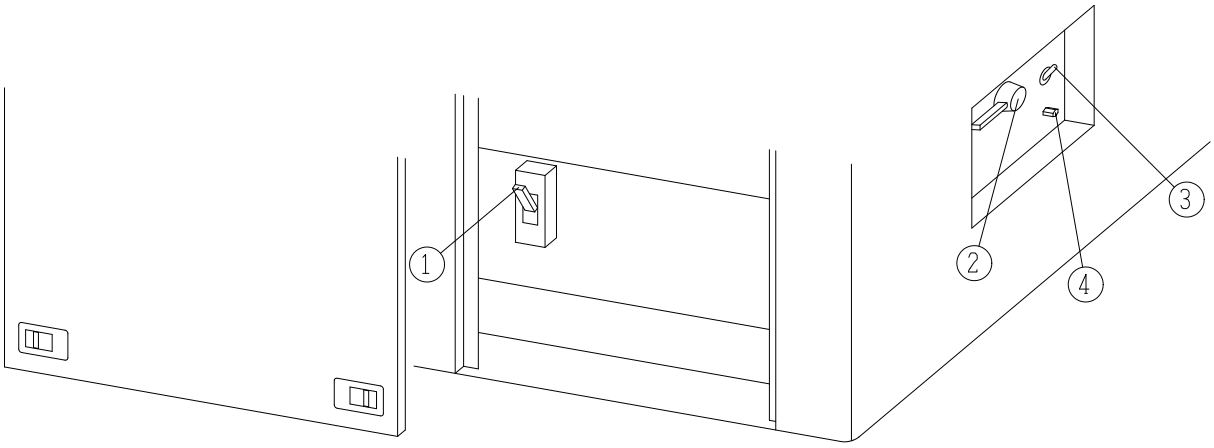
設定ロックの説明

- 設定保護のため、曜 日、時 、分 、休 日、プログラム、現在時刻 の各キーには常時、ロックがかかっています。プログラム変更、現在時刻変更を行う場合は、必ず設 定 キーでロックを解除してください。設定完了後には自動でロック状態になり、設定内容を保護します。
- 設 定 キーを約 4 秒間押し続けるとブザーが鳴り、設定ロックが解除されます。
（各設定前には必ずロック解除が必要です。）

電源ボックス



前カバーをカバーの下側に付いているファスナーのレバーを内側に引き、前カバーを引きだして外してください。



- 電源ボックスの説明
  - ① 電源ブレーカ ····· 本製品の主電源をON／ＯＦＦするスイッチです。
    過電流及び漏電を検知します。通常はONのままです。
    （注意 ： 短時間のうちにON／ＯＦＦすると故障の原因になります。）
  - ② 排水コック ····· 槽内の水を排水するのに使用します。
  - ③ 電源スイッチ ····· 電源をＯＮ／ＯＦＦするスイッチです。
  - ④ アース端子 ····· 追加保護設置用

週間タイマーの操作

初めての操作

- 電源プラグがしっかり接続されている事を確認して電源スイッチを ON にしてください。
- 電源を ON にしたら、現在時刻を確認し、必要により再設定してください。
- 現在時刻の確認が出来たら、週間タイマーのプログラムを使用状況に応じて設定してください。
- 週間タイマーには標準プログラムが設定されています、標準プログラムでよければ、電源を ON にするだけで、タイマー運転を開始します。
- 週間タイマーは、日曜日から土曜日までのそれぞれの入／切時間及び休日の設定が可能です。

週間タイマーの標準プログラム

初期設定は以下のプログラムが設定されています。

プログラム 曜日	入時間 （使用開始時間）	切時間 （使用終了時間）	休日設定
日曜日	ー	ー	休日
月曜日	９：００	１７：００	ー
火曜日	９：００	１７：００	ー
水曜日	９：００	１７：００	ー
木曜日	９：００	１７：００	ー
金曜日	９：００	１７：００	ー
土曜日	９：００	１７：００	ー

参考 タイマーの入時間は、加温完了時間を見込んだ、時間設定の必要はありません。
入時間に使用開始時刻、切時間に使用終了時刻を入力してください。

現在時刻の設定

現在時刻の再設定が必要な場合は、以下の要領で再設定してください。

設　定キーを押しロックを解除 ･･･（P.11 参照）

↓

現在時刻キーを押す････（時刻の表示が点滅となり、時刻設定入力待ちの状態になります。）

↓

曜　日キーを押し本日の曜日にする ･･･

日　月　火　水　木　金　土
●→○　○　○　○　○　○

キーを押すごとに曜日ランプが移動します。

↓

時 ・ 分 キーを使って時刻を入力します。

↓

モニタ表示が設定したい時刻になったら、

設　定キーを押す

週間タイマーの設定

タイマーの設定

- 設定を行う場合は設定ロックの解除をして、プログラムキーを押します。(P.11 参照)
- 日曜日からプログラム設定が始まります。日曜日は休日に設定されています。
- 休日を解除したいときは、休 日キーを押してください。時刻表示に戻ります。
- 日曜日が休日で良い場合は、曜 日キーを押し次の月曜日の時間設定から始めてください。

◆ 入時間の設定

設 定キーを押す

↓

プログラムキーを押す

↓

曜 日キーを押す ･･･ 日 月 火 水 木 金 土
●→○ ○ ○ ○ ○ ○（設定したい曜日を変更する）

↓

時 ・ 分 キーで希望の時間を設定する･･･（休日はＯＦＦ表示）

↓

時間を合わせたら、

設 定キーを押す ････（入時間設定が完了すると、自動的に次の切時間の設定になります。）

◆ 切時間の設定

時 ・ 分 キーで希望の時間を設定する･･･（自動的に入時間の 1 時間後が表示されます。）

↓

時間を合わせたら、

設 定キーを押す ････（切時間設定が完了すれば、自動的に翌日の入時間モードになります。）

◆ 休日の設定

休 日キーを押す･････（表示部はＯＦＦ表示となり休日に指定されたことを示します。
再度休 日キーを押すと時間表示にもどり休日は解除されます。）

↓

設 定キーを押す ････（その曜日は休みとなり自動的に翌日の入時間モードになります。）

以上の操作を日曜日から土曜日まで行うと“ＰＡＳＳ”が表示され、自動的に時刻表示になります。

途中の曜日でもプログラムキーを押と“ＰＡＳＳ”を表示し、時間表示にもどります。

参考 ・正しくタイマー設定できた場合、時刻表示部に“ＰＡＳＳ”が表示されタイマー運転を開始します。
入力ミスのときは“-Ｅ-”が表示されます、タイマー設定をやり直してください。

・間違って現在時刻キーを押した場合、再度現在時刻 キーで復帰します。

・間違ってプログラム キーを押した場合、“ＰＡＳＳ”を表示し、時刻表示にもどります。

操作方法について

準備

1 排水バルブが閉じていることを確認します。
2 槽内に水（湯）を入れます。適正水位は、水切りカゴの仕切りがかくれるくらいの高さです。
3 エスパックを入れます。エスパックの取り扱いについては、必ずエスパックのご使用方法（P.20）をお読みください。
4 電源スイッチが「切」になっていることを確認した後、電源プラグを AC100Ｖ15Ａアース付コンセントに差し込みます。

温度設定

本体電源スイッチを入れると、タイマー運転による温度制御を開始します。

- ［ ＋ ］・［ － ］キーを押し希望の温度に設定します ……設定単位は、１℃です。

参考 初期値は、８０℃になっています。温度制御は槽内温度が設定温度に達した場合ヒーターOFF となり、１℃以上低くなった場合再びヒーターが ON となります。

強制停止

タイマー運転で使用中、停止したい場合は強制停止にしてください。

- ［停　止］ キーを押します……強制停止となり翌日からタイマー運転に戻ります。

手動運転

タイマー運転中に切時間になっても使用時間を延長したい時やタイマーとは無関係に本機の運転を行いたい場合は、手動運転にします。

- ［ 切 ］ キーを押します。 …… 週間タイマーによる制御から解除されます。
- 温度制御の［運転］・［停止］ キー、及び設定温度で運転が制御されます。

参考 ヒーター通電時に解除した場合は、［停止］キーを押すか、設定温度になるまで通電します。
ヒーター非通電時に解除した場合は、［運転］キーを押すか、設定温度より 1 度以上下がるまで通電しません。

長期間の運転休止

一週間以上使用しない場合、タイマー運転を 切 にして 停止 キーを押してください。

参考 電源ブレーカを OFF にするか、電源プラグをコンセントから抜きますと、内蔵電池が切れた場合に温度設定及び週間タイマーを再設定する必要のある場合がありますので注意してください。

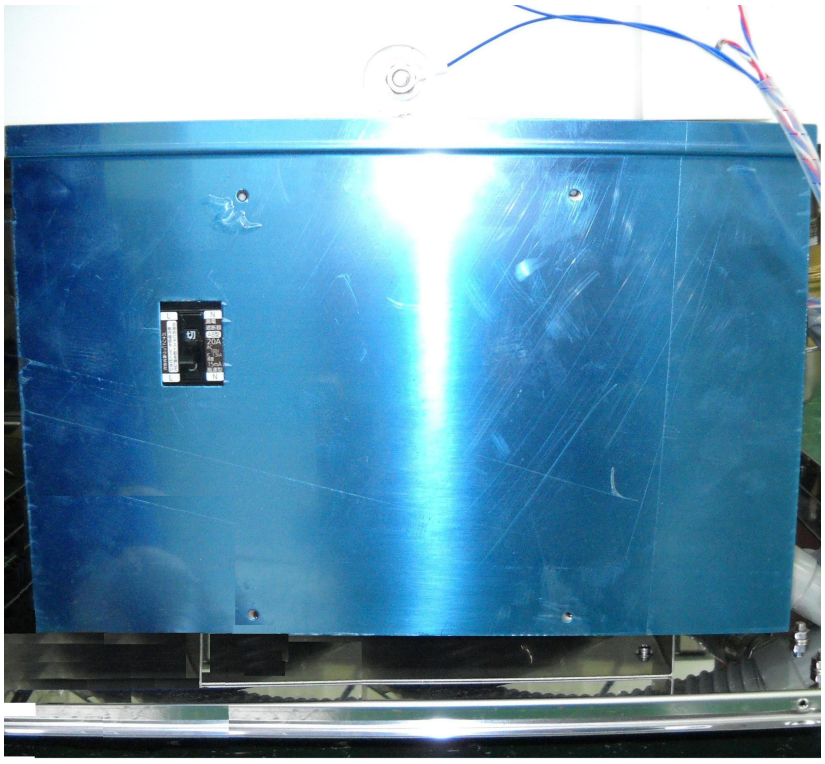
電池の交換

内蔵電池（タイマー用ボタン電池：CR２０３２）の寿命が切れた場合（温度設定及び週間タイマーを再設定する必要がある場合）

最寄りの販売店様にご連絡後、販売店にて内臓電池の交換を行ってください。

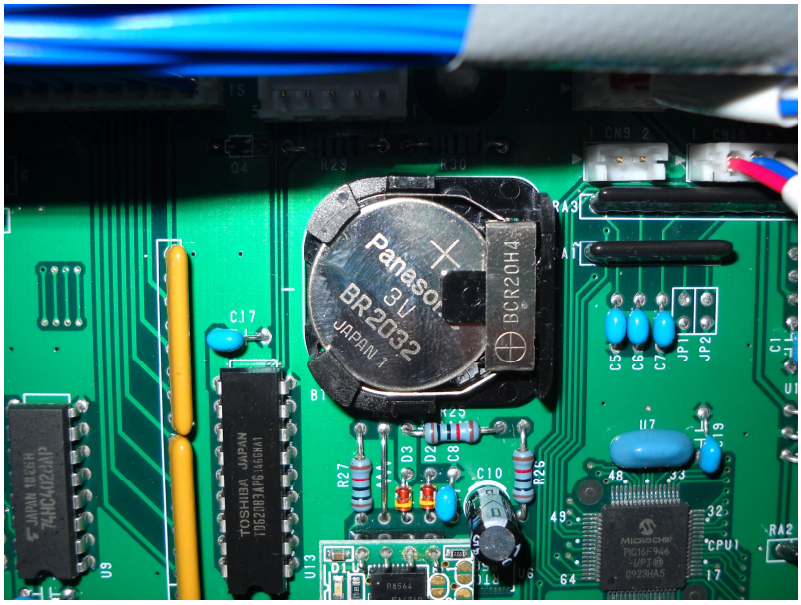
- 交換方法

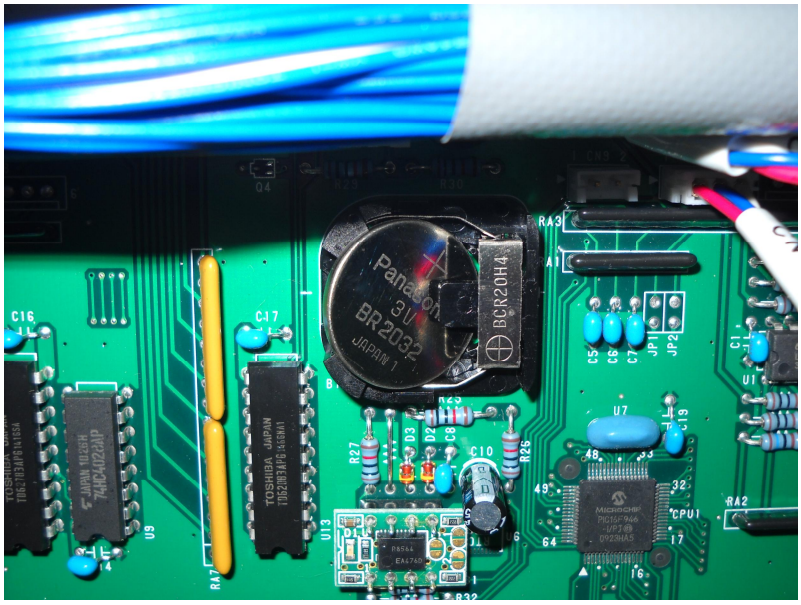
  本体の前カバーを外し、電源ブレーカを「切」にしてください。



前カバーを外したら、電源ボックスのカバーのネジをプラスドライバーで外してください。（４ヶ所）

次に電源ボックス内の電池を右側に軽く押しながら左側から手前に引っ張るように外してください。





電池が外れましたら、新しい電池をはめ込み電源ボックスのカバーを取り付けて前カバーを取り付けてください。

ご使用後

週間タイマーを使用しているときは、電源プラグはコンセントにつないだままにしてください。

> ⚠注意　・槽内の水(湯)は十分に補給してふたをしておく

参考　水位は槽内の水位線まで充分に水(湯)を補給してください。
水位センサー(槽内下部)より下に水位が下がりますと空焚防止装置が作動して、自動的に加温をストップします。この場合は水不足ランプが点灯します。
水(湯)を補給しない限りヒーターには通電しません。

エスパックのご使用法

1　新しいエスパックは使用する前に水の中に 12 時間くらい浸し、水を十分に吸収してふくらんでから使用（加温）してください。
2　エスパックカバーを広げ､十分に温まったエスパックを引掛金具で紐に引掛けて取り出し、水をよく切って、エスパックカバーの片側に載せてください。
3　エスパックカバーを二つ折りにして､マジックファスナーでしっかり止めてください。
4　患部に 2～4 層の清潔なタオルを当て、エスパックカバーの注意書のある側を上にして使用してください。（患部側にのみ温熱が伝わります）
5　治療中は患者さんに毛布，タオル等の保温具を掛けてください。
6　そのまま温湿布を続け、治療時間が終了しましたらエスパックカバーを外します。
7　エスパックは湯の中に戻してください。

参考　エスパックカバーの代わりにタオルを使用される場合は、下記の手順に従って行ってください。

①　清潔な厚地のバスタオルで、よく水を切ったエスパックをくるみます。
②　バスタオルの上から手を当てて、温度を確認してください。熱すぎたり、ぬるすぎる場合はタオルの枚数で温度を調節してください。
③　以後の手順は、上記 4～7 と同様です。

参考　一度使用したパックは乾くとカチカチになりますが、再び水(湯)に浸けると元の状態に戻ります。効果は全く変わりません。

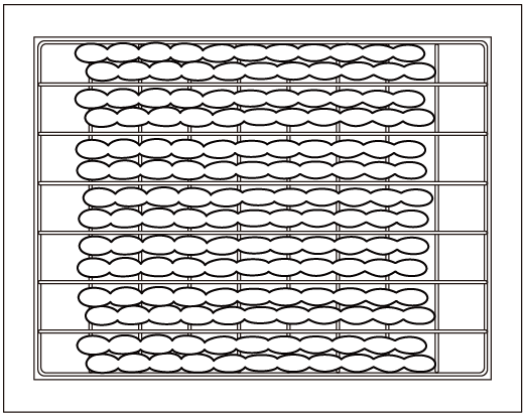
⚠警告　使用前に必ず手で温度を確認
熱いとやけどをする恐れがあります。

⚠注意　・知覚異常のある患者に使用する場合はやけどに注意
・塩素系消毒剤で除菌するときは、濃度及び浸けおき時間に注意
濃度が濃いと布地を傷めます。浸けおき後は水でよく洗ってください。
(5%漂白剤を用いた場合、使用量の目安として、1ℓ の水に対し 5～10 ccの割合で加えた濃さの液で 30 分程度)

エスパックの入れ方

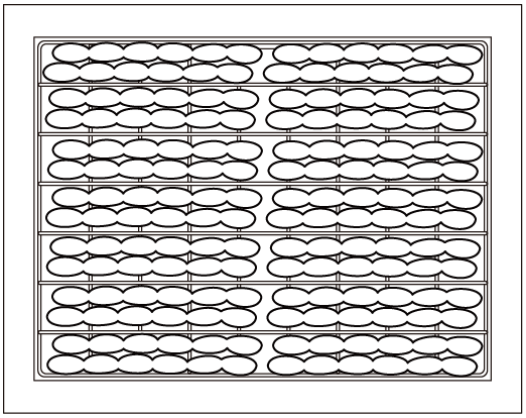
槽内へは以下のようにエスパックを入れることができます。（入れ方は一例です）

●CLS-11（大）･･･14 枚



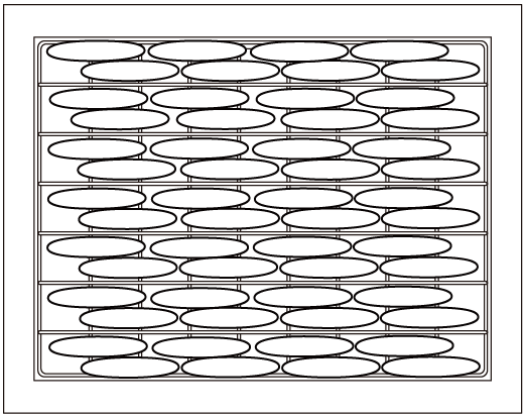
横向きに入れる

●CLS-12（中）･･･28 枚



横向きに入れる

●CLS-13（小）･･･56 枚



縦向きに入れる

ご注意 膨らんでいない新しいエスパックは外形が大きいため、例のように入いらない場合があります。

お手入れの仕方

槽内の水の取替え

ご使用するにつれて槽内の水が汚れてきますので、一週間毎に取り替えてください。その際の水は水道水を使用してください。鉄分を多く含んだ水(井戸水，温泉水等)はもらい錆が発生しますので使用しないでください。

> ⚠注意　・槽内の水は必ず一週間に一度は交換する
> ・排水は槽内のお湯が十分冷めてから行う

清掃

1 ステンレス部についた水滴をそのままにしておきますと、湯垢が残り汚くなります。乾いた布で水滴を拭きとってください。
2 槽内にもらい錆（茶褐色）が発生した状態で放置しますと槽に穴があきますので、ステンレス用のクレンザーで磨き取ってください。
3 槽底部の排水部に糸屑等が詰まりますと排水出来なくなりますので、一週間毎に清掃してください。

> ⚠注意　・清掃の際、操作スイッチにホース等で水をかけない
> ・清掃時には電源プラグを抜く

故障と思われる前に

下記の事項に注意してください。異常があれば使用を中止して購入店又は、当社に連絡してください。

症　状	原　因	処　置
・何も表示されない。	・電源プラグが正しく接続されていない。	・電源プラグを正しく接続してください。
	・安全装置が作動している。	・使用を中止して、最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
・ブレーカが切れる。	・漏電の可能性があります。	・使用を中止して、最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
・槽内温度が上がらない。	・タイマーの設定が正しくない。	・タイマーの設定を確認し設定を訂正してください。
	・片方のヒーターが切れている。	・使用を中止して、最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
	・水不足である。	・水を入れてください。
・タイマーが働かない。	・プログラム設定が正しくない。	・プログラムを確認し、設定を訂正してください。
	・休日の設定になっている。	・　〃
	・タイマー運転「切」になっている。	・タイマー運転「入」にしてください。
	・上記以外。	・電源を「ＯＦＦ」し、表示がすべて消灯していることを確認し、10 秒以上たってから、再度電源を「ＯＮ」にしてください。
・操作キーが働かない。	・タイマーロック状態になっている。	・タイマーロックを「解除」してください。（ P.14 参照）
	・プログラムが設定通りに動作しない。	・電源を「ＯＦＦ」し、表示がすべて消灯していることを確認してから、度電源を「ＯＮ」にしてください。
・高温ランプが点灯している。	・ ヒーターがＯＦＦしない。	・使用を中止して、最寄りの弊社営業所までご連絡ください。

機器の保守・点検について

- 本製品については、機器の管理者の方が以下の点検項目にもとづき、必ず始業点検（日常の製品使用前）を実施してください。
- 長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。
- 点検時に異常が発見された場合は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
- 清掃等の簡単な保守は機器の管理者等によって実施するようお願いいたします。

始業点検項目

区分	点検内容	点検方法
周囲	障害物の有無	目視
本体	カバー及びふたのガタつき、取付ネジの緩み、脱落	目視 及び、ドライバー等による確認
	槽内の汚れまたは、不要物	目視
	槽内の水位	目視
	槽からの水漏れ	目視
	電源ランプの点灯	目視
	タイマーの表示	目視
	キャスターのロック	前後左右に押して浴槽が動かないことを確認
エスパック	エスパックのほつれ、吸水	目視

保証とアフターサービス

✹ 保証書と保証期間

- 保証書（別添）はよく読んで大切に保管してください。保証書がないと保証期間中でも代金を請求させていただく場合があります。
- 保証期間は、1年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

✹ 修理を依頼される場合

- 修理を依頼されるときは下記のことをお知らせください。

  機種名　：　CL-35
  お買い上げ年月：　　年　　月
  故障状況(できるだけ詳細に)
  住所，氏名，電話番号

- メーカーより指示のあるとき以外は、決して開けたり分解しないでください。

✹ 消耗品

（使用により、量などが減少していくもの）

タイマー用ボタン電池（CR2032）

交換は、弊社営業所までご用命ください、有償交換いたします。

✹ 損耗品

（使用により、磨耗･劣化･変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

・正常な使用において、交換の目安が約２年のもの。
キャスター

・正常な使用において、交換の目安が約３年のもの。
温度センサー / 水位センサー

点検の時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。点検して必要により有償交換いたします。

✹ 保守部品の保有期間

保守用性能部品の保有期間は、お買い上げ後７年です。ただし、性能部品が製造中止などにより入手不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もあります。

仕様

外径寸法		680(L)×540(W)×800(H)mm
槽内寸法		600(L)×450(W)×410(H)mm
電　　源		AC100Ｖ　50／60 Hz
ケーブル長		3.5m
電源入力		1.3 kVA
使用温度		80 ℃
材質	槽	SUS316
	カバー	SUS304
ヒーター		1.3 kW
温度調節		電子制御式
タイマー		週間タイマー
安全装置	空焚き防止装置	○
	漏電ブレーカ	○
使用水量		約 95 ℓ
パック収容量	大	14 枚
	中	28 枚
	小	56 枚
質　量		約 50 kg
付属品	仕切りカゴ	1 個
	引掛金具	1 本

注)都合により予告なく仕様の変更を行う場合があります。

医用電気機器の使用上(安全及び危険防止)の注意事項

●次の注意事項を熟読して、機器を正しく使ってください。

1　機器を取り扱うには、その機器の取扱法，操作を十分に熟知してから、使用してください。

2　機器の設置と保管する場所

① 水のかからない場所に設置，保管してください。
② 気圧，温度，湿度，風通し，日光に留意し、ほこり，塩分，イオウ分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずる恐れのない場所に設置，保管してください。
③ 傾斜，振動，衝撃(運搬時を含む)など安定状態に注意してください。
④ 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に設置，保管しないでください。
⑤ 電源の電圧，周波数，消費電力に注意して設置してください。
⑥ 電池電源の場合には、放電状態，極性などを確認してください。
⑦ 機器を設置するときには、アースを正しく確実に接続してください。
⑧ コンピュータ等に代表される電子回路の機器は、高周波や電磁波などの電気的雑音によって誤作動が起きることがあり、電気的雑音は電源ラインからの混入が多いので、電源コンセントは高周波、電磁波等を発生する機器（マイクロウェーブ等）と同一のラインを使用しないでください。
⑨ 電気的雑音は電波として空中から影響を受けることがあるので、高周波、電磁波等を発生する機器（マイクロウェーブ等）の近く及び静電気の発生し易い場所には設置、保管しないでください。

3　機器を使用する前の準備

① 機器が正常で安定に作動することを確認してください。
② アース線，コード類の接続が正確で、また完全であることを確認してください。
③ 他の機器を併用する場合は、専門家の指示に従ってください。
④ 患者に直接接続する外部回路が正常であることを確認してください。
⑤ 電気的雑音は電波として空中から影響することがあるので、近くに高周波、電磁波等を発生する機器（マイクロウェーブ等）が無いことを確認してください。
⑥ 電子回路の機器は静電気により誤作動が起こることがあり、又、身体には静電気が帯電しやすいので、近くの金属（机・ドアのノブ等）にふれて身体に静電気が帯電していない状態で操作してください。
⑦ 電池電源を確認してください。

4　機器の使用中の注意

① 診断，治療に必要な時間，量は指定以上にならないように注意してください。
② 機器及び患者に異常がないことを絶えず監視し、異常が発見された場合は、直ちに患者が安全であるように機器の作動を止めるなどの適切な措置を講じてください。
③ 機器及び他の電気器具などに患者が触れることのないように、注意してください。

5　機器の使用後の注意

① 定められた手順により操作スイッチなどを使用前の状態に戻してください。ただし、清掃、長期休暇等の未使用時以外は電源スイッチを切らないでください。（電源スイッチを切ると翌日ご使用時に設定温度に保たれていません。）
② コード類を取りはずすときは、コードを持って引抜いたりしないで、正しくプラグを持って取りはずしてください。
③ 機器は次回の使用に支障のないように、必ず清浄にしておいてください。

6　故障したときは適切な指示をして、専門家にご連絡ください。

7　機器及び部品は必ず点検を行ってください。

8　機器は絶対に改造しないでください。

● 不明な点等がございましたら、最寄りの営業所までご連絡ください。

覚え書きとしてご利用ください。

営業所名	
営業担当者名	
購入年月日	年　　月　　日
MEMO	

お問い合わせ

● 修理に関するお問合せ：

・平日は下記の最寄りの営業所へ

・土曜・日曜及び祝祭日は、フリーダイヤル 0120-161-288（受付コールセンター）

● 商品に関するお問合せ：

下記の最寄りの営業所

● 健康被害などが発生した場合：

下記の最寄りの営業所 または TEL 047-498-1220（品質保証室）

（時間はすべて 9:00 ～ 17:30 です。）

酒井医療株式会社

http://www.sakaimed.co.jp

札幌営業所	〒065-0018	札幌市東区北 18 条東 19 丁目 3-23	011(780)5570
盛岡営業所	〒020-0816	盛岡市本宮 4-9-16	019(656)5336
仙台営業所	〒984-0032	仙台市若林区荒井字遠藤 47-1	022(390)6840
新潟営業所	〒950-0855	新潟市東区江南 6-1-11	025(286)1788
埼玉営業所	〒331-0812	さいたま市北区宮原町 3-590-4	048(662)4560
千葉営業所	〒270-1402	白井市平塚 2668-3	047(497)3691
西東京営業所	〒183-0012	府中市押立町 3-8-17	042(330)7621
東京営業所	〒113-0034	文京区湯島 2-21-25	03(3816)5010
横浜営業所	〒224-0041	横浜市都筑区仲町台 5-6-34　ベルウッド	045(944)4478
名古屋営業所	〒460-0012	名古屋市中区千代田 2-6-12	052(263)9867
長野オフィス	〒399-0738	塩尻市大門七番町 4-16	0263(54)9610
金沢オフィス	〒921-8036	金沢市弥生 2-6-16	076(241)5721
関西支店	〒565-0853	吹田市春日 3-20-8	06(6386)3545
広島営業所	〒731-0124	広島市安佐南区大町東 3-8-36 アドグレイスⅡ	082(830)0420
高松営業所	〒760-0080	高松市木太町 1465-2-2	087(865)0715
福岡営業所	〒816-0932	大野城市瓦田 5-3-29	092(573)7133
鹿児島営業所	〒890-0069	鹿児島市南郡元町 6-10　リード in 南郡元	099(252)5251

本社	〒113-0034	文京区湯島 2-21-25
白井第一工場	〒270-1402	白井市平塚 2668-3
白井第二工場	〒270-1402	白井市平塚 2593-1
白井物流センター	〒270-1431	白井市根 235-2

2011.11